

果樹班

○ジョイントモデル園の栽培技術支援



平成27年4月現在、東伯普及所管内でジョイント栽培に取り組む生産者は3件あります（北栄町1件、琴浦町2件）。

平成27年は琴浦梨生産部の1園をモデル園として現地での栽培研修会や視察研修を行いながら、技術指導を行うとともに新たな取り組み者の掘り起こしを行ってきました。

【写真：ジョイント栽培視察の様子（園芸試験場）】

○「ぼろたん」の栽培技術確立



琴浦町では遊休農地対策としてくりの新品種「ぼろたん」が導入されています。平成26年3月に琴浦栗生産部が設立され、平成26年9月より選果場での共同出荷が始まりました。普及所は栽培技術の向上のため、初心者向けの栽培講習会の開催や病虫害防除対策の検討を行っています。

【写真：ぼろたんの選果と栽培講習会の様子】

○「シャインマスカット」の栽培技術確立



「シャインマスカット」は、皮ごと食べることが出来る青ブドウ新品種として期待されています。

高品質な果実生産を目指して栽培管理を指導するとともに、樹勢が強く新梢の伸びが旺盛であるため省力的な新梢管理方法の実証試験を行いました。

【写真：実証試験の果実調査の様子】